

事業活動実績報告書

施 設 名	幼稚園型認定こども園 金町幼稚園
教 育 理 念	「丈夫な子」「考える子」「思いやりのある子」

1 事業名	音楽を通して豊かな感性と表現力を養う
2 実施期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日

3	取組概要	（取組日）令和 7年 4月 18日 ～ 令和 8年 3月 6日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・毎週金曜日に、専門講師が年齢に合わせた指導を行った ・年齢に合わせて月毎・季節毎に曲や楽器を替えていき、様々な楽器に触れる機会をつくり、自己表現やあそびの幅を広げた （タンバリン・鈴・カスタネット・トライアングル・キーボード・太鼓や打楽器・木琴・鉄琴等）	
		（取組日）令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
		（取組日）令和 7年 11月 4日 ～ 令和 8年 2月 18日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・2月にかつしかシンフォニーヒルズで生活発表会を開催し、自己表現の場とした ・生活発表会で披露したものは、幼稚園教育要領における音楽劇（オペレッタ）・合奏・合唱で、1歳児がオペレッタ、2歳児がオペレッタ・合奏、3～5歳児がオペレッタ・合奏・合唱を披露した	
		（取組日）令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容）当該期間における取組内容を詳細に記載すること	

効果検証報告書（継続事業用）

施 設 名	幼稚園型認定こども園 金町幼稚園				
教 育 理 念	「丈夫な子」「考える子」「思いやりのある子」				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康	人間関係 ○	環境	言葉	表現 ◎
1 事業名	音楽を通して豊かな感性と表現力を養う				
2 事業概要	専門講師による指導で、感性を豊かにする音楽を幼少期から経験し、生活発表会の練習・発表の場を通じて表現することの喜び・楽しさを知る				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	1～5歳児(クラス名:つくし、たんぽぽ、すみれ、れんげ、ゆり)			85 名	
計画時	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 ・日常のレッスン時は各担任、専門講師が指導を行う ・生活発表会の際には職員の中から生活発表会係を決め、会場の予約・打ち合わせ、楽器や材料の手配、保護者への通知等、運営統括として一年間活動を行う ・生活発表会係は、日常保育に支障がないよう選出するようにする			
	事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・職員と講師、また職員間でも相談し合いながら連携したことで、スムーズな運営を行うことができた ・生活発表会係を園児数が一番少ないクラスから選出し、またサブも隣のクラスから選出したため、連携もとやすく日常保育に支障なく運営統括として活動することができた ・今回は会場が通常と異なり不安な点も多かったが、整列や入退場の誘導等、保護者の父母会役員に協力いただき連携を密に進めてくださったおかげで、事故なく終えることができた		
計画時	5 事業のねらい	・歌うことの楽しさ、表現することの楽しさを日々の保育の中で体感し、生活発表会で披露する ・園児の成長段階、気持ちや考えを理解して受容し、一人ひとりが安心して自己を発揮し活動に取り組めるようにする ・歌や楽器を通して様々な表現法を経験し、一人ひとりの個性を伸ばす ・イメージを豊かにし、創造性・表現力を養う ・生活発表会を通し、他学年の演目を見学することで、次年度への期待感を高める			
	事業後	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・歌、合奏、音楽劇と多様な表現の仕方に触れた経験を通して、自分の思いや感じたことを、歌や音、リズムで表現できることを知ることができ、豊かな表現力を身に付けることができた ・生活発表会の練習期間、またリハーサルで他学年の演目を見る機会を例年以上に増やした結果、自分たちもできるようになりたい、もっと大きな声を出せるようになりたい等の子どもたちの声を聞くことができ、練習にも意欲が湧き次年度への期待感も高まった		

計画時

6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等
	・毎週金曜日に、専門講師が年齢に合わせた指導を行う ・講師のピアノに合わせて歌を歌ったり、楽器を演奏する ・年齢に合わせて月毎・季節毎に曲や楽器を替えていき、様々な楽器に触れる機会をつくり、自己表現やあそびの幅を広げる (タンバリン・鈴・カスタネット・トライアングル・ピアノカ・太鼓や打楽器・木琴・鉄琴等) ・2月にかつしかシンフォニーヒルズで生活発表会を開催し、自己表現の場とする ・生活発表会で披露するものは、幼稚園教育要領における音楽劇(オペレッタ)・合奏・合唱で、1歳児がオペレッタ・2歳児がオペレッタ・合奏、3～5歳児がオペレッタ・合奏・合唱を披露する ・それぞれの曲や役のイメージが湧くよう、物語の絵本や映像を見せ、イメージしたものを絵に描いたりすることで、想像力を豊かにする
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点
	表現の領域の『生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。』という「ねらい」に即し、『音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。』という「内容」について、本園では1歳児からの音楽指導を通じて園児に音楽で表現することの楽しさを味わってもらうことに加え、生活発表会という発表する場を設けることにより、さらに園児が自己表現することに喜びや意欲を感じることができるよう取組を発展させた。 (継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点 これまで、合奏での担当楽器やオペレッタでの配役は、園児の日々の様子や成長を見ながら、全体としてのバランスを考えることに重きを置いて音楽講師と担任で相談しながら決めていたが、前年度は「この役がやりたい」「この楽器がやりたい」と年長児の子どもたちから意見が多く出たため、その意見を取り入れたところ、これまでより子どもたちが意欲的に熱中して取り組む姿勢が見られた。 そのため今年度は、年長児だけでなく他学年でも、やりたい楽器ややりたい役があるか子どもたちの希望を聞き、希望が重なった場合には話し合ったりくじ引きやじゃんけんで決めたりと、決める段階から楽しんで取り組めるようにしていく。 表現するということに対し、子どもたちが楽しみながら、意欲的そして自信をもって取り組む姿勢が見られることを期待したい。

事業後

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等
	・個々の子どもの発達や興味に合わせた歌や楽器に触れさせ、その時の状態に対応した指導者の配慮や働きかけをしたことで、幼児の音楽の感性を育てることができた ・年間通して歌や楽器に触れる機会を多く設けているため、音楽が身近となり、遊んでいる時に口ずさんだり楽しんでいる様子が見られた ・今年度は、合奏の担当楽器、オペレッタの配役を年長児だけでなく他学年でもやりたい楽器ややりたい役を子どもたちの希望を聞き決めたことで、いつも以上に意欲的にそして楽しんで取り組む姿勢が多く見られた

計画時

7 環境構成例	・日常のレッスンは各教室で、1月以降は1階の教室をホールとして開放し、練習やリハーサル等を行う ・1月以降は練習やリハーサルで部屋の移動があったり、着替えの練習をしたりと忙しい日々が続くため、園児の様子をよく観察し、休息の時間をこまめに取り入れたり、表情や体調の変化に気をつけながら指導を行う ・教室や用具、楽器等は常時整備点検を行い安全に留意して行う ・必ず得意・不得意があるため、うまくできない子や理解していない子等、園児一人ひとりに合ったアドバイスや言葉かけを行い、苦手意識をなくしていく ・本番間近になると指導に熱が入ってしまうこともあり、それにより園児が楽しんで取り組めなくなってしまうよう、生活発表会は園児の成長のための場であることを忘れず、指導者も一緒に歌ったり踊ったりして楽しさを伝え、活動の中で一人ひとりをほめながら、自信をもって取り組めるようにする ・オペレッタでは、各担任がクラス人数分の衣装・小道具・大道具・バック絵全てを作成する。衣装や小道具があることによって、表現すること、役になりきることの楽しさを知ってもらい、園児がイメージしやすいようにする ・生活発表会は、例年亀有リリオホールで開催しているが、今年度は改修工事のため、かつしかシンフォニーヒルズで開催することとなった。初めての場所での開催となるため、混乱や事故が生じないよう職員間でよく話し合い連携をとり、そして園児がいつも通り臨めるよう、環境や安全に留意して運営を行う
---------	--

計画時	事業後	7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・子どもたちの成長のためであるという目的を忘れず、楽しさを伝えほめながら指導したことにより、自信をもって取り組む姿が見られ、また担当楽器や配役を子どもたちの意見を聞き決めたことにより、いつも以上に子どもたち同士で教えあったり、家で練習したりと努力して取り組む姿勢が見られた ・例年と違う会場での開催だったため、職員間、保護者、会場の方といつも以上に連携をとり臨んだため大きなトラブルはなかったが、打ち合わせ通りにいかない部分や変更点が生じたため、もっと確認や連携を密にしておくべきだと思った
	8	期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ・様々な楽器に触れ、音を奏でる楽しさを知ることによって想像力を広げる ・気持ちを込めて歌ったり、曲や役のイメージを動きや言葉などで表現したりと様々な表現法があることを知ることによって、自由に表現できるようになる ・友だちとリズムを合わせて合奏したり、衣装を着て演じて遊んだり、一緒に取り組むことで協調性を養い、音楽を楽しむ ・日頃の園生活で培われている創造力や表現力が、生活発表会で十分発揮できるようにする
	事業後	8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・相手の音を聞いて自分の音を出す、音を合わせるなど、人との関わりが音によって伝わってくることを体感したことにより、協調性が養われた ・生活発表会が終わっても、衣装を着て遊んだり、違う役になりきって友だち同士で演じたり、またやりたいという声が多く聞こえ、子どもたちが表現することの喜びや楽しさを感じている様子が見られた
	9	効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 幼少期に大きな舞台で大勢の観客を前にして表現を行う生活発表会は、他では得難い経験であると思われる。舞台に立つまでには指導者による地道な指導が必要で、そしてなにより子どもたちが目標に向かって努力しやり抜いたからこそ得られた経験であり、その経験を自信に繋げ、自己表現することの楽しさをこれからも学んでいってほしいと思う。 音楽を通して子どもたちが感性を豊かにし、表現することの喜び・楽しさを子どもたちが経験できるよう、今後も地道な指導を続けていくと同時に、表現の場である生活発表会に力を注いでいきたい。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。